

## 著者紹介

### 小野 秀誠 (おの しゅうせい)

序, 第1章, 第5章 執筆

#### 略歴

1954年生まれ。一橋大学大学院法学研究科修士課程修了。  
現在, 獨協大学法学部教授, 一橋大学名誉教授。

#### 主要業績

『大学と法曹養成制度』(信山社, 2001年)  
『民法総合判例解説・危険負担』(不磨書房, 2005年)  
『契約における自由と拘束』(信山社, 2008年)  
『利息制限の理論』(勁草書房, 2010年)  
『民法の体系と変動』(信山社, 2012年)  
『債権総論』(信山社, 2013年)  
『法律学習入門—プレゼンテーション対応型』(信山社, 2019年)  
『亡命法学者と法の変容』(信山社, 2022年)

### 良永 和隆 (よしなが かずたか)

第2章, 第7章 執筆

#### 略歴

1957年生まれ。一橋大学大学院法学研究科博士課程修了。  
現在, 専修大学法学部教授。

#### 主要業績

『建物譲渡における譲渡人の土地工作物責任と登記の機能』『取引法の変容と新たな展開 川井健先生傘寿記念論文集』(日本評論社, 2007年)  
『不法行為法』(日本加除出版, 2010年)  
『不動産売買の成立時期』『専門訴訟講座⑤ 不動産関係訴訟』(民事法研究会, 2010年)  
『新民法学2 物権法〔第4版〕』(成文堂, 2011年, 共著)  
『基本法コンメンタール民法総則〔第6版〕』(日本評論社, 2012年, 遠藤浩と共編)  
『民法〔第10版〕』(勁草書房, 2018年, 我妻榮と共著)  
『契約書式実務全書 第1巻～第3巻〔第3版〕』(ぎょうせい, 2020年, 大村多聞・佐瀬正俊と共編)

### 山田 創一 (やまだ そういち)

第3章, 第4章 執筆

#### 略歴

1960年生まれ。中央大学大学院法学研究科博士課程前期修了, 同課程後期退学。  
現在, 専修大学法科大学院教授。

#### 主要業績

『群馬司法書士会震災復興支援金事件最高裁判決をめぐる学説の検討』専修法学論集 96号 (2006年)  
『Ultra Vires 法理の機能と課題』専修ロージャーナル4号 (2009年)  
『危険負担に関する債権法改正』法学新報122巻9・10号 (2016年)  
『定型約款に関する債権法改正の考察』名城法学66巻3号 (2016年)  
『安全配慮義務の再評価』『民法学の伝統と新たな構想 宮本健蔵先生古稀記念』(信山社, 2022年)

## 中川 敏宏 (なかがわ としひろ) 第6章, 第8章 執筆

### 略歴

1971年生まれ。横浜国立大学大学院国際経済法学研究科修士課程修了，一橋大学大学院法学研究科博士後期課程修了。  
現在，専修大学法学部教授。

### 主要業績

「法律行為の一部無効問題に関する諸規定の新設」円谷峻編著『民法改正案の検討 第3巻』(成文堂, 2013年)  
「不動産留置権の抵当権化の可能性—韓国の留置権制度改革に対する考察を通じて」専修大学法学研究所紀要39号(民事法の諸問題 XIV)(2014年)  
「法定地上権制度の日韓法比較」『民事責任の法理 円谷峻先生古稀祝賀論文集』(成文堂, 2015年)  
「韓国民法上の相続回復請求制度に対する史的素描(1)(2・完)—伝統法から現代法まで」専修大学法学研究所紀要43号(民事法の諸問題 XV)(2018年), 専修法学論集132号(2018年)  
『コリアの法と社会』(日本評論社, 2018年, 共編著)

## 中村 肇 (なかむら はじめ) 第9章, 第10章 執筆

### 略歴

1968年生まれ。横浜国立大学大学院国際経済法学研究科修士課程修了，一橋大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学。  
現在，明治大学専門職大学院法務研究科教授。

### 主要業績

「ドイツ民法における種類債務者の調達リスクの引受による責任—調達義務の限界とリスク引受責任」『民事責任の法理 円谷峻先生古稀祝賀論文集』(成文堂, 2015年)  
「改正民法における追完規定の検討—『契約の尊重』と『契約規範』の多層的構造という観点から」『現代私法規律の構造 伊藤進先生傘寿記念論文集』(第一法規, 2017年)  
『論点体系・判例民法(6)契約1 [第3版]』(第一法規, 2019年, 共著)  
『新基本法コンメンタール 債権I』(日本評論社, 2021年, 共著)  
『Before/After 民法改正 [第2版]—2017年債権法改正』(弘文堂, 2021年, 共著)